

8-4-32 自動運転WG

1. 主な活動の記録

自動運転WGでは、昨年度に引き続き、自動運転に関する情報を収集し、建設コンサルタンツ協会に情報共有することを念頭に活動を行った。また、自動運転車両の混在期に対する課題を整理し、建コンとしてどのように関わっていくべきかという議論を詰めることを目標とした活動を実施した。

下記に示す項目について、4回のWG開催し、意見交換および検討を行った。

- ・自動運転に関する情報収集・話題提供
- ・自動運転に関する意見交換
- ・自動運転社会における課題の抽出・整理
- ・建設コンサルタント市場への提言
- ・民間協働の促進

2. 実績報告

4回のWGを開催し、技術委員会、情報委員会から選出の計9名の委員により主に次項目を検討した。

(1) マトリクス表の作成(継続)

自動運転に関する建設コンサルタント市場の現状分析・課題抽出のため、縦軸を時間(レベル)別に短中長期、横軸をテーマ(キーワード)として、ニーズ・業務概要・取組み内容等を取りまとめた。

(2) 自動運転の想定される将来像の検討

前述のマトリクス表より、短期ならびに中長期の想定される自動運転の在り様(どのレベルにいるか・混在期のイメージ等)を検討した。

(3) 他業界動向の把握

建設コンサルタント業界における自動運転に関する検討に対し、インフラ側に求められる要件や業界に今後求められる課題、対応等についての方角性確認を目的とし、自動車工業会よりアドバイザーを招き、勉強会を実施した。

また同時に、他業界の動向を把握し、今後の取組み方針とした。

(4) 今年度活動実績

- 第1回 WG 令和元年5月30日(木)
- 第2回 WG 令和元年7月18日(木)
- 第3回 WG 令和元年9月26日(木)
- 第4回 WG 令和2年1月28日(火)

3. その他報告事項

自動運転に関して、産学官の各立場での動向・先進的な取組み事例の照会・建設コンサルタント市場におけるビジネスモデル等について意見交換する場を設け、建設コンサルタントとしての取組み方針を検討した。

今年度は第2回WGに、自動車工業会(トヨタ自動車株式会社)より講師として2名に参加頂き、「将来ビジョンの紹介やプロジェクトの紹介を頂くと共に、建設コンサルタンツ協会に求められる対応等」と題して意見交換を行った。

4. 次年度の活動について

(1) 情報収集・発信と運営体制の検討

現状分析・課題抽出のために作成したマトリクス表をもとに情報収集するとともに、継続的な運営体制の構築と建設コンサルタンツ協会内外への情報発信についても検討する。

(2) 建設コンサルタント市場への提言

建設コンサルタントとしての自動運転に関する取組み方針を検討し、ビジネスモデル構築をはじめ、市場への提言を目指す。

(3) 自動運転に関する試乗体験・視察

今年度は自動運転WGメンバーにおいて、実際に自動運転車両に試乗することにより現状の把握、課題等を抽出し、とりまとめる(柏の葉キャンパス駅→東大キャンパス間自動運転試乗およびスマートシティツアーへの参加を予定)

(4) 意見交換会の開催

今後の自動運転に関する市場開拓での協働も視野に交流を深め、継続的な情報共有の場とすることを検討する。

(自動運転WG WG長 大森 陽一)